

「高松市環境基本計画（素案）」についてのパブリックコメント実施結果

本市では、平成27年9月1日から9月30日までの期間、「高松市環境基本計画（素案）」についてのパブリックコメントを実施しました。いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方を、以下のとおりまとめましたので、公表いたします。

1 意見総数 5件（3人）

2 いただいた御意見の要旨及びそれに対する本市の考え方

※ 提出いただいた御意見は、趣旨を変えない範囲で、簡素化若しくは文言等の調整をしています。

| 御意見（要旨） | 市の考え方 |
|--|---|
| <p>環境基本計画は、いかに市民に身近なものとして興味を持ってもらい、楽しみながら参加できる市民活動にしていけるか、ということが大切である。そのためには、もっと見やすく、関心を引くような工夫が必要である。</p> <p>例えば、アンケート結果については、男女別や年齢層別の回答特徴なども補足説明することで、どの年代がどのように感じ、何を望んでいるのか、が見える化でき、親近感のある結果となるのではないかと。</p> <p>また、海岸や空港、森林のクリーン活動だけでなく、栗林公園などの有料施設を清掃対象に加え、清掃参加者は清掃時の入園を無料にするなど、「ご褒美」的な仕掛けがあれば、参加者も増え、効果も大きくなるのではないかと。</p> | <p>環境基本計画の策定に当たっては、計画内容を広く周知し、市民や事業者の方々にも計画の推進に向けて行動していただけるよう、分かりやすい内容にしていきたいと考えております。いただいた御意見を踏まえ、市民の方々に身近なものとして興味を持っていただける計画となるよう検討してまいります。</p> <p>また、楽しみながら参加できる市民活動については、具体的な施策の中で検討してまいりたいと存じます。</p> |
| <p>環境基本計画に、「ことでの見直し」を取り上げてほしい。</p> <p>車両走行時の音や踏み切りの警報機の音が、周辺の環境をかき乱しているため、他都市の事例を参考に警報機の音を変えるなど、見直し改善するよう計画に取り上げてほしい。</p> | <p>環境基本計画の中で、車両走行時の音対策や警報機の音の変更などを取り上げることは困難ですが、御意見の内容については、高松琴平電気鉄道株式会社にお伝えしたところがございます。御理解を賜りたいと存じます。</p> |

| | |
|---|---|
| <p>地球温暖化について、我が身で感じ、今後の対策が非常に気になる場所である。</p> <p>高松市内の農地は急速に減少していったが、土に返し、緑を増やすことを望む。それが地域住民の活動の場となれば、なお一層よい。ダム建設予定地等に住む野生生物（動植物）の生息場所が心配である。また、都市開発等によるCO₂吸収量減少分を別の形で増やすことが必要ではないか。</p> | <p>今回は、種々の御意見をいただき、ありがとうございます。環境基本計画の中では、緑化の推進、自然保護や二酸化炭素の削減などの施策を検討しているところでございます。今後は、御意見の趣旨も踏まえまして、計画の策定を行ってまいりたいと存じます。</p> |
| <p>ごみの分別をしなくてもよい集合住宅があるが、そのごみはどのように処分しているのか。ごみの出ない社会構造への転換を望む。</p> | <p>ごみの処分については、分別基準に従ってステーションに排出するようお願いしております。集合住宅によっては、個別に市の許可業者へ回収を依頼し、ごみの収集を行っている箇所もありますが、そのようなごみを市に搬入する際には、可燃及び破碎ごみへの分別を行うよう指導をしております。</p> <p>今後も、ごみの削減と再資源化に向けて、各種施策を進めてまいりたいと存じます。</p> |
| <p>環境基本計画の表現について、もっと市民が動きたくするような表現があってほしい。</p> | <p>いただいた御意見を踏まえ、市民や事業者の方々に計画の推進に向けて行動していただけるような内容、表現を検討してまいりたいと存じます。</p> |